

[特別陳列]

春日若宮

おん祭の

信仰と美術

Feature Exhibition

Kasuga Wakamiya Onmatsuri: Art and Devotion

春日若宮おん祭とは

春日若宮おん祭は、1年に一度、春日大社の春日若宮(若宮神社)より若宮神を御旅所へお迎えし、1日24時間にわたりさまざまな芸能を捧げる祭礼です。御旅所の若宮神のもとに祭礼参加者が詣でる風流行列や、田楽や舞楽、猿楽などの神事芸能が有名です。平安時代の保延2年(1136)に始まり、古儀の祭礼を守り続けて今年で890年目を迎えます。

Kasuga Wakamiya Onmatsuri

The Kasuga Wakamiya Onmatsuri is an annual festival where the Wakamiya Deity is carried from his Wakamiya Jinja within the Kasuga complex and to a temporary “travel abode” (*otabisho*) where he is entertained with numerous performances for a full twenty-four-hour day. The festival is famous for the procession of historic figures (*furyū gyōretsū*) honoring the Wakayama deity at the *otabisho* and for traditional performing arts, such as *dengaku* (field music), *bugaku* (court dance), and *sarugaku* (the predecessor of *nō* and *kyōgen*). The Heian-period origins of Onmatsuri are evidenced by records tracing back to Hōen 2 (1136). Its traditions have been protected and carried on through the generations, and this year marks its 890th observance.



上巻 お渡り式 馬長児

Volume I Child on Horse in the Ceremonial Parade
(*Owatari shiki*)



下巻 御旅所祭 献饌

Volume II Offering Food During Rituals at the Deity's Temporary Abode (*Otabisho sai*)

春日祭礼之図 上下巻(部分)

江戸時代(19世紀) 春日大社

おん祭の様子を描いた2巻からなる絵巻。
18世紀はじめに描かれた絵巻を祖本としています。

*Depiction of the Kasuga Wakamiya Onmatsuri,
Volumes I • II (Kasuga Sairei no Zu)*

Edo period, 19th century Kasuga Taisha

This is a two-volume illustrated picture scroll depicting scenes from the Onmatsuri festival.

〔特別陳列〕
春日若宮
おん祭の
信仰と美術



神楽装束・簪
現代(20世紀) 春日大社
おん祭では正装した御巫(春日大社での巫女の呼称)により神楽が舞われます。

Shrine Priestess Costume, Hairpin
(*Kagura Shōzoku, Kanzashi*)
Modern, 20th century Kasuga Taisha
This is a costume that is worn by the shrine maidens (known as *mikanko* at Kasuga Taisha) who perform dances and musical performances as offerings to the gods during special festivals.



主な出陳作品

若宮御料古神宝類 銅造狛犬
平安時代(12世紀) 春日大社
銅に銀鍍金を施した狛犬。本品は藤原頼長によって若宮に奉納されたと考えられています。

National Treasure
Ancient Shrine Treasure of Wakamiya:
Bronze *Komainu* Dog
Heian period, 12th century
Kasuga Taisha
This is a *komainu* dog made of bronze with silver plating.



鹿島立神影図
南北朝～室町時代
(14～15世紀) 春日大社

春日大社本殿第一殿の祭神である武甕槌命は、鹿に乗って常陸国(現在の茨城県)鹿島を出立し、春日の地に来臨したと伝わっています。

Kasuga Deity Takemikazuchi on a Deer Arrived at the Kasuga Shrine (*Kashima Daichi Shin'ei zu*)
Nanbokuchō to Muromachi period, 14th to 15th century
Kasuga Taisha
The deity enshrined in the First Shrine of the Main Shrine of Kasuga Taisha, Takemikazuchi no Mikoto, is said to have departed from Kashima in Hitachi Province (present-day Ibaraki Prefecture) riding on a deer and eventually arrived at Kasuga.

若宮御料古神宝類 毛抜形太刀 復元模造
現代 平成15年(2003) 春日大社
保延元年(1135)、藤原忠実によって若宮に奉納されたと考えられる太刀の精巧な模造。



Ancient Shrine Treasure of Wakamiya:
***Kenugigata* Long Sword (Reproduction)**
Modern, 2003 Kasuga Taisha
This is an exquisite reproduction of the long sword believed to have been offered to the Wakamiya Shrine by Fujiwara no Tadazane (1078–1162) in 1135 (Hōen 1).



重要文化財 舞楽面 納曽利
平安時代(12世紀) 春日大社
龍や蛇をイメージする面で、大きな目に牙を持った怪異な容貌を表しています。

Important Cultural Property
***Bugaku* Mask of Nasori (Dragon)**
Heian period, 12th century Kasuga Taisha
This is a mask that takes the image of a dragon or snake and shows the strange and eerie expression of large eyes and fangs.

春日鹿曼荼羅(平群町福貴春日講関係資料)
室町～安土桃山時代(16～17世紀) 春日大社
金色の神鏡をいただく榊を鞍に載せ、影向する白色の神鹿を描いています。鏡には春日大社の本地仏(釈迦、薬師、地藏、十一面観音、文殊)が表されています。

Kasuga Deer Mandala (*Kasuga Shika Mandara*)
(Items and records for *kasugakō* at Fuki in Heguri-chō District)
Muromachi to Azuchi-Momoyama period, 16th to 17th century
Kasuga Taisha
This painting depicts a white divine deer appearing with a sacred sakaki tree placed on its saddle, bearing a golden sacred mirror. The mirror shows the original Buddhist forms (*honji*) of the Kasuga Taisha deities.



特集 平群町福貴における春日講

令和6年夏、平群町福貴に伝わった春日講関係資料が春日大社に奉納されました。この春日講は福貴地区の6軒の家により構成され、平成の初期まで活動がありましたが、継承の困難により活動を休止されていました。令和5年に奈良県文化財保存課が調査を行い貴重な資料であることが確認され、講員の方々ともご相談の上、春日大社に奉納される運びとなりました。

資料の中には、宝永元年(1704)再興の箱書きがある春日鹿曼荼羅があり、福貴春日講の300年以上の歴史を窺うことができます。講員の方々のお話では、女性が中心になって、4月と5月に輪番で春日講を自宅で行っており、赤飯、御神酒、カマスゴや白和え、菜っ葉と油揚げの炊き物等のオカズをお供えされていたようで、お供えに使用した丸三方や漆椀等御膳一式も伝わっています。

春日講とは

春日講とは、奈良町や周辺の農村で行われた春日信仰に基づく行事で、決まった日に各町内の会所と呼ばれる集会所や、地域によっては講員の住居に参集し、春日神が神山御蓋山に影向される姿や境内の風景等を描く春日曼荼羅を床の間等に掛けて礼拝するものであり、講によっては、地域ごとの行事の後に春日社へ参拝し、神楽を上げたりしていました。この行事は春日神の神徳を讃えて、神恩感謝することに加えて、講の構成員が一堂に会して、行事の後に飲食を共にすることで地域的な結びつきを強める目的もある、町内の重要な行事のひとつでした。



かすがこう ごぜん
春日講御膳（平群町福貴春日講関係資料）
近代（19～20世紀）春日大社
春日鹿曼茶羅とともに伝来した御膳で、春日講を行う際のお供えに使用されました。
漆碗に赤飯やおかずを盛って丸三方（台）に載せ、花瓶には櫛を生けて供えたそうです。
付属する箱には明治22年（1889）の墨書があります。



Kasugakō Ceremonial Tableware
(Items and records for *Kasugakō* at Fuki in Heguri-chō District)

Modern, 19th to 20th century Kasuga Taisha
This ceremonial tableware set was handed down together with the Kasuga Deer Mandala and was used for offerings during *Kasugakō* rituals. Red rice and side dishes were served in the lacquered bowls and placed in a round offering stand, while sakaki branches were arranged in the flower vase as offerings. The accompanying box bears an ink inscription dated 1889 (Meiji 22).

出陳一覧

指定	名称	員数	時代	所蔵
第1章 春日若宮の誕生				
	古社記断簡	一卷	鎌倉～南北朝時代（14世紀）	奈良・春日大社
	中臣祐賢春日御社縁起注進文（文永六年）	一卷	鎌倉時代 文永6年（1269）	奈良・春日大社
	中臣祐賢春日御社縁起注進文（文永十二年）	一冊	鎌倉時代 文永12年（1275）	奈良・春日大社
	鹿島立神影図	一幅	南北朝～室町時代（14～15世紀）	奈良・春日大社
	鹿島立神影図	一幅	南北朝時代（14世紀）	奈良国立博物館
	神鹿鞍	一具	鞍：室町時代（14～15世紀） 鉾：平安時代（9～12世紀）	奈良・春日大社
	春日文殊曼茶羅	一幅	鎌倉時代（14世紀）	奈良国立博物館
	春日赤童子像	一幅	室町時代（15～16世紀）	個人蔵
	春日社寺曼茶羅	一幅	鎌倉時代（14世紀）	奈良国立博物館
	春日名号曼茶羅	一幅	室町時代（16世紀）	奈良国立博物館
第2章 若宮古神宝の世界				
国宝	若宮御料古神宝類 銅造狛犬	一軀	平安時代（12世紀）	奈良・春日大社
	金鶴洲浜台 復元新調	一組	現代 令和4年（2022）	奈良・春日大社
	銀鶴及磯形 復元新調	一具	現代 令和4年（2022）	奈良・春日大社
	若宮御料古神宝類 平胡籬 復元模造	一腰	現代 平成30年（2018）	文化庁
	若宮御料古神宝類 毛抜形太刀 復元模造	一口	現代 平成15年（2003）	奈良・春日大社
	獅子・狛犬（春日若宮撤下品）	二軀	鎌倉時代（13世紀）	奈良・春日大社
国宝	若宮御料古神宝類 水晶玉	一箇	平安時代（12世紀）	奈良・春日大社
	御神前調度 四脚机、高杯、八足案、丸盆、打敷、散米盆	一式	江戸時代～現代（17～20世紀）	奈良・春日大社
	春日権現験記絵 巻第十三	一卷	江戸時代 文化4年（1807）	奈良・春日大社
第3章 春日若宮おん祭				
	春日祭礼之図 上巻	一卷	江戸時代（19世紀）	奈良・春日大社 *前期
	春日祭礼之図 下巻	一卷	江戸時代（19世紀）	奈良・春日大社 *後期
	千切台〔模造〕	一基	現代 昭和2年（1927）	奈良・春日大社
	盃台	一基	現代 平成5年（1993）	奈良・春日大社
重文	舞楽面 納曽利	一面	平安時代（12世紀）	奈良・春日大社
	納曽利装束	一式	安土桃山時代（16～17世紀）	奈良・春日大社
	舞楽面 散手	一面	江戸時代（17～19世紀）	奈良・春日大社
	散手装束	一式	江戸時代（18世紀）	奈良・春日大社
	神楽装束・簪	一式	現代（20世紀）	奈良・春日大社
	馬長児装束	一式	現代（20世紀）	奈良・春日大社
	籠蓋	一具	江戸時代（19世紀）	奈良・春日大社
	沓鼓	一口	室町時代（14～16世紀）	奈良・春日大社
	波頭時絵筆 狛近家作	一管	江戸時代 宝永4年（1707）	奈良・春日大社
	箒築	一管	江戸時代（17～19世紀）	奈良・春日大社
	龍笛	一管	江戸時代（17～19世紀）	奈良・春日大社
	春日大宮若宮御祭礼図	一冊	江戸時代 安永9年（1780）	奈良・春日大社
特集 平群町福貴における春日講				
	春日鹿曼茶羅（平群町福貴春日講関係資料）	一幅	室町～安土桃山時代（16～17世紀）	奈良・春日大社
	春日講御膳（平群町福貴春日講関係資料）	一式	近代（19～20世紀）	奈良・春日大社

*前期：12月13日（土）～1月4日（日） 後期：1月6日（火）～1月18日（日）

会期◆2025年12月13日（土）～2026年1月18日（日）
会場◆奈良国立博物館 西新館

主催◆奈良国立博物館、春日大社、NHK奈良放送局
特別支援◆DMG森精機 協力◆仏教美術協会

制作：奈良国立博物館
デザイン・印刷：天理時報社
編集・執筆：渡邊亜祐香（春日大社）、吉澤悟、羽良朝風（奈良国立博物館学芸部）
英訳：チュイ・ビアンカ（奈良国立博物館学芸部）

